

会員数 (52.10.1現在)

逗子地区 106名

葉山地区 202名

大船地区 76名

合計 384名

吟道月報

認可 吟道月報 会 行 発 心 碩 川 奈 神

52.10.5

第 36 号

63

編 集

加藤 冽風

常任理事会報告

去る十月二十二日(土)七時より本館において常任理事会が開催された。決定、報告事項は次のとおり、

一、高役者審査会

と き。五十三年三月十二日(日)

ところ。二ノ宮

受審者。七段五名、八段三名

皆伝二名

二、支部(教場) 設立の件

今後支部を設立する条件と

して、当該会員五名以上を

有し、かつ常任理事会の承認を得ることとする。

三、五十三年新年初吟会について

一月十六日(月)京浜ビーチセンターで開催することとし、細部は担当支部で決定することとなった。

担当。大船B・C、松和支部
会費。二千参百円

四、今後、春と秋の審査会終了後に審査員と、常任理事及び指導者との反省会を開催することとし、会費は実費

参加者負担とすること。

五、指導者資格について(総本部通達)

準師範 中伝以上にして、(県本部の取

扱いとして)は六段以上)五人以上の研修会員を有すること。

師 範 奥伝以上にして、三〇人以上

の研修会員を有すること。

正師範 皆伝にして、師範歴三年以上であり、一〇〇人以上の研修会員を有すること。

なお、準師範、師範、正師範の各いづれも総本部主催の研修を受けること。

(但し許証料は不要)

六、名札(胸バッチ)の着用について

温習会、初吟会等、碩心会主催の行事に出席する場合は各自必ず名札(胸バッチ)を着用すること。(記載方法は一般会員は支部名及び氏名又は雅号とレ、常任理事は以上は雅号のみとする。)

私の一日

沼田 光伍(下山口支部)

会員の皆様お元気ですか。私も相変わらずです。さて、毎朝五時四十五分に目をさまし、マラソンの身仕度をして家を出る私の一日が

はじまります。朝のすがすがしい海岸廻りの県道を走り、三ヶ岡下より海辺に出ると、波うちぎわに掘ったばかりと思われるカニの穴を数多く見ながら、一色、大浜、長者ヶ崎海岸を走りぬける毎日のコース。途中、今はなきお茶寮の先端に立って一吟。右手には海に浮かぶ江の島、遠くに見える丹沢連峰、そして白く薄化粧した富士山。眼下には渕に出る渕船のむれ、左手に煙りを吐く伊豆大島と大崩、長者ヶ崎海岸、朝の風景は奥に心洗われる思いである。数多くの詩の中で満足に吟ずるといまだならず。残念に思っておりますが、ただ私はカー杯大きな声を張りあげて顔がホーッと赤くなり一吟、吟じ終わった後の爽快さがたまらなく好きである。健康と美容のため今後も一生精進を続ける所存である。

詩吟と歌と

梁

秋元染風(堀内支部)

詩は心である。詩吟は心の型つまり心の

現れの音律である……耳にたこが出来るほど傾がされつつ来て、今頃になつてうなづくと、遅すぎると不勉強さをはずかしく思う此の頃です。

この道に入り初めた頃、こんな歌を詠みました。この道はたかくけわれき道なれど

かすむ峠に杖をたよりて

二年たち、三年たちして、どうやら人の前で出来るようになった頃に、と、

たのレみを求むる道はあまたあれど

心をいやす道を知り初む

多くの詩に接し、吟友に接して

丸くなれ丸くならむとひたすらに

心のとひら開きつうけて

暗やみを手さぐりに歩む重われ

導く灯りがかゝきてあれ

年数がたてばなつほど、より深い海の底のようであり、より高い山のようであると思われ

てならない。これは私だけではないと思います。春をまつかたきつばみは年をへて

花と開くわ何時の春かと望
旅立ちが遅かった私達が、高きを希むのは、体力がゆるさないであらうし、背のひするなよ」と心のどこかでささやいて居るのを、左様、左様とうなづいて居る次才、でも、何事によらず人間一生勉強だよ……と心に云ひ聞かせ乍らはげんでおります。

会員の異動

★新 会 員

桜山B支部 小島いく子 逗子市桜山五〇〇P三

(電)七〇九六一二

堀内支部 高橋 咲子 逗子市桜山八〇一P三

(電)七〇二八五三

★退会々員

169 逗子A支部 北村 健山

82 逗子B支部 高山 倉山

108 沼間支部 桜井 茂山

24 建設支部 小池 俊風

関 宏

206	銀詠支部	一柳 昔山
	加藤 信男	
140	桜山B支部	松岡登喜子
	堀内支部	萩原 芳山
124		加藤 修山
124		河原 静山
124		沼田 泰泉
130	長柄支部	笠原 昭山
150	富士見支部	金城 宏山
	滝ノ坂支部	藤原 繁
		藤原 茂子
35	上山口支部	石川 喜市
	大船A支部	若林 嶺風
372	大船B支部	松代 安夫

逗子地区温習会

◎とき。十二月四日(日)十時～三時半
◎ところ。逗子市立図書館ホール

なお当日許証授与が行なわれますので該当会員は(地区別会員に關係なく)多数出席して下さい

萃

本誌掲載の「私の好きな詩」の執筆順位を次のとおり決定させて頂きました。原稿内容により二、三名同時に掲載することもありまので早めに原稿執筆方が配慮下さい(爾後の順位は順次発表します)

広報部長

- ③ 下條亮岳(大船地区)
- ④ 竹村梅風(逗子地区)
- ⑤ 井沢朝風(兼山地区)
- ⑥ 蒲谷蒼岳(大船地区)
- ⑦ 千葉劔風(逗子地区)
- ⑧ 小峰順風(兼山地区)
- ⑨ 鈴木華風(大船地区)
- ⑩ 千葉香風(逗子地区)

九月号(23)の訂正

▼「私の好きな詩」竹石憲風執筆の文中、

二頁の二、三行目「...骨を壺墳墓...」は

「骨を埋む壺墳墓...」の誤りでした。

▼新会員一色B支部「川栗正子 兼山町一色

一〇二七」は「小栗正子 兼山町一色二〇二七

の誤りでした。

お詫びして訂正いたします。